

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。
ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

2015 システムアーキテクト「専門知識十午後問題」の重点対策 第1版 第1刷

No	訂正箇所	誤	正
1	P.54 ・タイトル(コラム) ・1行目 ・4行目	直交法を用いた実験計画法 午前Ⅱ試験では、直交法を用いた実験計画法について、高い頻度で出題されます。・・・直交法を用いた実験計画法のポイントを理解するには、・・・。	直交表を用いた実験計画法 午前Ⅱ試験では、直交表を用いた実験計画法について、高い頻度で出題されます。・・・直交表を用いた実験計画法のポイントを理解するには、・・・。
	P.57 ・1行目	直前のコラムで書いたとおり、直交法を用いた・・・	直前のコラムで書いたとおり、直交表を用いた・・・
	P.597(索引) 右列-15行目	直交法・・・・・・・・・・・・・・54	直交表・・・・・・・・・・・・・・54
2	P.98 問9 選択肢ウ	ウ 受注クラス	ウ 受注係クラス
3	P.153 問4 解説 ・上から5行目 ・上から9行目	・・・回収できるシナリオAが最も投資効果の・・・ ここで、シナリオAのNPVを計算します。	・・・回収できるシナリオBが最も投資効果の・・・ ここで、シナリオBのNPVを計算します。
	P.154 問4 解答	解答 エ	解答 イ

No	訂正箇所	正
4	P.557 合格できる論文⑤ 問題の漏れ	<p>問題</p> <p>移行計画におけるタイムチャートの事前確認について</p> <p style="text-align: right;">(H18 秋・AE 午後Ⅱ問 3 改)</p> <p>基幹系システムのように、ほかのシステムとのインタフェースが多岐にわたり、データの種類や量が多いシステムの場合は、システム移行に多くのシステム資源を必要としたり、作業時間が長くなったり、作業手順が複雑になったりする。このような移行に当たっては、計画したタイムチャートどおりの時間や手順で実施できるかどうかを、事前に確認しておくことが重要である。</p> <p>その際、本番のシステム移行時と同じシステム資源を用いて、同じタイムチャートで実施することが望ましいが、使用できるシステム資源や作業時間の制約から、本番どおりには実施できない場合がある。そのような場合には、ほかのシステムや後続作業への影響の大きさ、移行データの種類や量の多さ、各種機器の切替手順の複雑さなどに着目して、タイムチャートのクリティカルな作業を見極め、例えば、次のような幾つかの方法を組み合わせ、クリティカルな作業が計画どおりに実施できることを確認する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発用のシステム資源を用いて作業を行い、その結果から類推する。 ・一部の本番データを用いて作業を行い、その結果から類推する。 ・本番と同じ切替手順書を用いてシミュレーションを行い、その結果から類推する。 <p>移行計画のタイムチャートについては、本番の移行作業を行う要員の全員が、移行リハーサルに参加できないなどのリスク要因によって、シミュレーション結果よりも長く作業時間がかかるなどのリスクが想定できる。想定したリスクに対するリスク対策としては、移行リハーサルの結果を早めに移行要員全員に周知するなどの予防処置や、長引いた作業のための臨時要員をプールしておくなどのリスク対応策も重要となる。</p> <p>あなたの経験に基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。</p> <p>設問ア あなたが移行に携わったシステムの特徴と、移行計画の概要について、800字以内で述べよ。</p> <p>設問イ 設問アで述べた移行計画のタイムチャートにおけるクリティカルな作業は何か。クリティカルと見極めた理由とともに簡潔に述べよ。また、本番のシステム移行時に、クリティカルな部分が計画どおりに実施できることを、事前にどのように確認したか。特に工夫した点を中心に、800字以上1,600字以内で具体的に述べよ。</p> <p>設問ウ 設問イで述べた方法で確認したタイムチャートについて、リスク要因を基に想定したリスク及び検討したリスク対策について、特に重要と考えた点を中心に、600字以上1,200字以内で述べよ。</p>